

2006Autumn  
NO1

ディレクトフォース  
DIRECTFORCE

〒100-0003  
千代田区一ツ橋1-1-1  
パレスサイドビル9F  
電話03-5288-7560  
発行人・水野 勝  
印刷・株式会社ケーブリング

# DF NOW

ディレクトフォースの運営状況について  
今年で設立5年目

## 立ち上げの時期を終え 内容充実のステップに

設立5年目を迎える節目に当たって、これまでのディレクトフォース(DF)の運営を概観してみます。

### ビジネスモデル三つを四つに

DFは設立後、満四年になろうとしています。

「講義・講演」から、「人材紹介」、「コンサルティング」と年ごとに事業を広げてきました。

本年度(8月決算)は事業売上で2億円になりました。

ここに来て、今までコンサルティング業務の1つとして捉えていた「ベンチャー支援」チームの仕事を、新たに事業グループに格上げしようと考えています。

### 新たな会員の増強を

7月中旬現在、会員は約420名です。ただ、種々の理由で退会・休会された方がおられ、実働350名です。講義・講演には約100名の方が参加しておられ、コンサルティングにも約100名の方が何らかの形で参画しておられます。

人材紹介で再就職される方が年間20

〜30名います。

しかし、この会員数では、産業界・教育界から多様な引き合いを受けても、十分な対応が出来ないおそれがあります。

そこで、よりいっそう多様な多くの会員が参加して下さることを必要としています。会員の皆様には引き続き

新会員の紹介をお願いいたします。

### 勉強会 同好会の充実

前述の「事業」とともに「勉強会・懇親会」「同好会」も重要な活動の柱です。

毎月の勉強会・懇親会を通じて知的刺激を受けながら、今までは異なる人間関係を作っていたためです。それも楽しみながらです。今後当会員誌でもご紹介、ご報告してまいります。

### 提案

#### テーマ性・メッセージ性のある活動を

まだ事務局内でも十分に議論をして

かもしれません。

もちろん、月例の勉強会、10以上の同好会に参加しておられる方は、その限りでご理解いただけているとは思いますが、もっと、DFの全体像、さらに皆さんが、まだご存知でない素晴らしい他の会員をご紹介が

### みんなに可愛がられる初孫の誕生

か?」であります。

DFの幹線で就職された方や、コンサルの仕事を持たれた方、大学などで講義をされた方は、少なくともDFの活動に関わられ、その評価に参画できそうですが、まだその機会を得ておられない方には、DFが何をやっているのかよく判らないまま

できそうな方法を、以前から模索しておりました。それは、会員誌の発行であります。ただ、これは意外と労の重い作業であります。担当する人の発掘難は言いつりませぬ。軽くして、かつ持続可能たらしめるこ

おりませんが、DFならではの「という視点で従来はなかったテーマ性、メッセージ性のある課題に挑戦してみようか、との意見があります。

環境問題、教育問題、農業問題、歴史問題などがありえましよう。具体提案が出てくれば、取り組みを検討したいと思っています。

以上、昨今の運営状況をトピックス風にまとめてみました。

どんな活動をやるにも必要なのは「企画力と実行力」です。いずれが欠けてもなにもできません。会員各位のご提案・ご協力をお願いいたします。

### 発刊の言葉

平素からいくつか気になっていることがあります。

一番大きな懸念は、DF会員の皆さんが、DFの会員であることに誇りを持っておられるだろうか? 楽しい集まりだと思っておられるだろうか?」であります。

DFの幹線で就職された方や、コンサルの仕事を持たれた方、大学などで講義をされた方は、少なくともDFの活動に関わられ、その評価に参画できそうですが、まだその機会を得ておられない方には、DFが何をやっているのかよく判らないまま

できそうな方法を、以前から模索しておりました。それは、会員誌の発行であります。ただ、これは意外と労の重い作業であります。担当する人の発掘難は言いつりませぬ。軽くして、かつ持続可能たらしめるこ

### 水野 勝

まれるような喜びであります。まるで初孫が生まれます。

ぜひ、会員の皆さんにも、この会員誌をいろんな形で活用いただき、いっそうDFの活動を充実させていただければ、これにまさる喜びはありません。

これからが夏本番です。各位のご健勝を祈ります。

## 量的緩和の解除の次の一手に 関心が集中

市場の見通しによれば、早ければこの7月にもゼロ金利政策が解除される。その前段階として去る3月9日に量的緩和政策が解除された。

この機会をとりえて、日銀出身の会員石原正之氏（株式会社CSKホールディングス常勤監査役）に、2001年3月に導入された量的緩和の内容、狙い、背景そして評価について解説してもらった。タイムリーな企画だったため、硬派のテーマにもかかわらず多数の聴講者が参加した。

話の内容は、テーマに沿って量的緩和が中心となった。

量的緩和とは、市場における流動性の量を増加させ、金融緩和を促進する政策である。具体的には、日銀の当座預金の残高を極端に高め、民間の金融機関が取り崩して市場に資金が回るように仕向けるのである。

実際に、導入時は、5兆円程度だった日銀の当座預金の残高は、最も高いときは、30〜35兆円にも達していた。それが量的緩和解除後には、25兆円程度に下がっており、その後も急速に残高は減少してきている。

量的緩和が解除されても実質的にゼロ金利が続いているが、聴衆の関心はいきおい日銀がいつゼロ金利を解除するかに集中した。

講師の石原さんは慎重な言いまわし

講師・石原正之氏

の中で7月頃に可能性が高いと予想された。現状では、見事にその予想が当りそうな市場の流れである。

すい解説で、金融に疎い会員も金融政策の仕組み、意義を理解することができた。

いずれ近いうちにゼロ金利が解除されるだろうが、新しい局面を迎えたあかつきには、今後の金利上昇の見通しなど今一度、石原さんに講義願いたいところである。（7月6日現在のまとめ）

## これからのレストランビジネス 成長のための課題

講師・東 泰秀氏

外食産業はまさに戦国時代。新規参入が相次ぐ中で、取り巻く環境も激変しており、各企業は勝ち残りのために次々と革新的対応をしている。

この興味津々の外食産業の最先端の動向を東泰秀氏に聞いた。氏は、アサヒビールの出身だが、長年レストランビジネスに従事してきており、前線で戦ってきた経験を元にビビッドな話をされた。

氏は、外食産業はサービスの最たるものであり、とりわけ「外食は1時間間で勝負が決まる」「商売であること」を強調。客の満足度を高めるためにはホスピタリティ、精神の醸成が大切であると説明された。そして、レストランの「商品力」は、QUALITY（料理）、SERVICE（サービス）、CLEANLINESS（清潔）、ATMOSPHERE（雰囲気）の4つの総合力であると指摘した上で、これからのレストランビジネスの抱える課題として4つの課題

を提示。

一つは、少子高齢化、団塊世代の動向などの環境変化への対応、2番目が差別化、個性化時代への対応、3番目が、食育推進の中で外食が果たすべき役割、そして、4番目が生き残りのための「感動レストラン作り」。

なかでも興味を引かれたのが、3番目。食育基本法が、2005年に成立法はその理念として、「食育は心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし豊かな人間性を育ていく基礎となる」と掲げている。

つまり、知育、徳育、体育の基礎となる食の教育はこれからの時代の重要なテーマであるといっているのである。

一方、時代は、食の安全や健康を重視するようになってきている。

これらの課題に対応するためには、安価であればよい、おいしければ顧客が喜ぶという視点だけではなく、教育面、安全面などの多様なニーズに応え

ていかなければならないし、それに応えられる外食企業が戦いに生き残っていく。

そして、東さんは最後にユニークな提言を提示した。「銀行の店舗は1階から2階へ移りませんか」

銀行のお客は目的客なので、店舗は必ずしも路面店でなくても良い。その方が賃料も下がる。そして空いたスペースに外食の店やその他の店舗が入るほうが商店街の活況を取り戻すことにつながるのではないかといいのだ。

## 地球温暖化の予測における 地道で着実な研究を

講師・田中正之氏

地球温暖化対策は、地球を救うための国際的な緊急課題として取り上げられている。しかし、われわれは、科学的に見て、どついう構造で温暖化が進んでいるかについては、意外と詳しいことは知らない。

そこで、今回は、大気中の二酸化炭素の観測をはじめとする地球環境の研究で多面的な功績を上げている東北大学名誉教授の田中正之氏に、地球温暖化に関する科学的な解明の現状を聞いた。

地球温暖化に関する知見は、気候変動に関する政府間パネル（IPCC）によって集約されており、その見方が世界的な標準となっている。

しかし、その温暖化の将来予測には大きな不確実性が残されている。その理由の一つが、今後の人間活動がどのように進展し、その結果として大気中の温室効果ガスの濃度がどのように増加しているかという、最も基本的な事項の予測が極めて困難なことにある。

温暖化予測における不確定要因として、雲の量や状態の変化、大気中の

水蒸気量、地上植生の変化、土壌水分の変化とそれによる蒸発量や反射率の変化、人間活動にともなうエアロゾル量の変化と雲の量や性質への影響などがあげられる。

なかでも、重要でありながら、理解が進んでいないのが雲のフィードバック効果。雲は、地球表面の約半分を覆い、太陽放射を強く反射する性質がある。この雲の量の増減で、温暖化が大きく左右される。

これは温暖化予測が不確定である一例である。

欧州諸国は、ドイツの黒い森の恐るべき自然破壊を契機として、地球環境問題へは相当高い意識を持って取り組んでいる。一方で、中国を初めとする開発途上国では、目先の工業化優先で結果として地球環境保全は犠牲となっているといえる。

地球温暖化対策は、その予測においては、科学的な地道で着実な研究が求められているが、何よりも大切なことは、我々自身が地球環境問題を身近な問題として認識することであろう。

**事務局だより** 事務局の活動内容、会員へのお知らせ、要望などを掲載

**監査役部会**

**今秋より実務戦略編 開講**

第1クールの研修会は、2005年9月～11月まで「基礎編」、12月～2006年5月まで「応用編」として開催しました。

現在部会メンバーは86名ですが毎回60名を超える参加をいただき好評裡に終了いたしました。

業務「多忙の中、講師を快くお引き受けいただいた方々には心より厚く御礼申しあげます。

引き続き、第2クールの研修会は「実務戦略編」として、今秋2006年10月から開催いたします。

「実務戦略編」では、講演 パネルディスカッションによるシンポジウム 小集団活動による発表を考えていきます。

今回は同時に「監査役を目指す人のための基礎講座」(推進リーダー・泊久次氏)も並行して開講いたしますので奮ってご参加ください。

8月下旬にカリキュラムを始め、研修会の案内並びに新規部会加入のご案内をさせていただきますのでよろしくお願いたします。

今回の世話役として、石原正之氏(代表世話役)、高井俊成氏、川添進一

郎氏、田畑義一氏、渡辺章氏の5名の方にお願いくことにになりました。

(DF事務局 坪井 西村)

**工場・技術グループ**

**コンサル業務と自己啓発**

工場支援・技術支援を主目的とする当グループの現在のメンバー約30名には、工場経営・研究開発と言った技術畑の業務経験者が多い。

毎月の会合は、支援要請のあった案件などの議事その他、メンバーの経験談の講演、懇親会、時々工場見学会を盛り込み、コンサルタント業務推進とともに自己啓発・親睦も兼ねている。

(DF事務局 三宅 青山)

**ベンチャーグループ**

**志を持ったメンバーを募集**

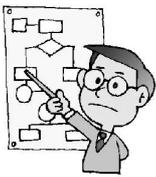
会員活動の母体の一つとして3年前の9月に「ベンチャービジネス支援タスクフォース」が発足しました。

その後メンバーも60人に増え、毎月例会も28回となり、支援しているベンチャー企業も5社を数えるまでになりました。

会員によるベンチャー支援の輪をさらに広げるため今回「DFベンチャー」として新体制になり、志を持った新規メンバーの募集も行っております。是非ご参加下さい。

(DF事務局)

児玉 西村)



今回は、金同好会の活動内容などをレポートしました。次回からは、鳥同好会の目玉イベントをイラストル風風に紹介していきます。ご期待ください。なお、ご興味をもたれた方は、世話人の方に直接連絡をしてください。

**麻雀同好会**



昔取ったネツ力連が知恵と度胸をフル回転する大熱戦の大会を隔月に開催。年間優勝を争う。9月18日・19日北海道函館にて第5回大会&ゴルフツアー・11月18日第6回大会 三木延義 sozoron@kpebiglobe.ne.jp

**ワイン・クラブ**



ワインを学びながらワインと料理のマリアージュを楽しむ例会を隔月開催。現在のワイン・テーマは「川」で7月はライン川・ドイツ・ワイン。9月23日に山梨のワイナリー訪問。戸成了晟 tonari@iscatv.ne.jp

**海外旅行同好会**



会員が、写真をスクリーンに投影するなどして旅行体験を発表し合い、旅の楽しみを分かち合い情報を交換する。会原則として月に1度開催。今井智之 tomoot7@maple.ocn.ne.jp

**囲碁同好会**



モウロク防止に最適な頭の体操を原則毎月1回実施。8月25日(金)予定 富山正一 stoniyama@benefit-one.co.jp

**カラオケ同好会**



現役時代に慣れ親しんだカラオケで、日々の生活のリズムにアクセントをつけるために、技量の上手下手は関係なく楽しい雰囲気です。ひと時を過ごすことに共鳴する人々の会。ふた月に一度の開催を予定。また、年に1～2回箱根あたりの温泉に宿泊しての懇親会も企画。廣瀬駒雄 k.n.hiros@nifty.com

**蕎麦クラブ**



「打つ、食べる、もてなす」がこの会のモットー。初めて「蕎麦打ち」に挑戦される方を対象に「蕎麦道場」を

**同好会通信**

活動内容 活動予定 世話人

開催。この他、隔月に旨い蕎麦を食べ歩く「蕎麦巡り」も開催。第5回蕎麦道場(9月11日)、第5回蕎麦巡り(9月19日)。木村富士雄 kimura@kojinanet 携帯080 309 9 6466

**美術同好会**



美に感動し、街を愛し、人と楽しむ。人生に更なる「彩り」を求める方々が美術を核として談笑を楽しみながら互いに啓蒙しあえる親睦の会。展覧会「スイス・スピリッツ」鑑賞、「安曇野スケッチ旅行と美術館巡り」、「ブリヂストン美術館訪問と学芸員の講演」、「中堅画家のアトリエ訪問」秋の

紅葉スケッチ旅行」など 日原健 ke-sera7642@com.home.ne.jp

**テニス同好会**



テニスを楽しむ機会が減りつつあるOBの皆さんと年に何回か集まってプレーする会。秋には予定を組む予定。近藤勝重 kondo@cto.co.jp 東急線沿線の方、歓迎!

**ゴルフ同好会**



年4回、東京近郊でコンペを開催。表彰式のパーティでの腕自慢で親睦をさらに深める。第1回を鎌ヶ谷CC、第2回を湘南CCで開催。第3回は9月15日東京バーディクラブで開催予定。吉備昭夫 akibi@07.riscom.net

**登山部**



原則月1回山行。ただし、冬場は危険度が高いので実施しないことになっています。今までは、丹沢の塔の岳と鍋割山、高尾山、生藤山と陣馬山の3回実施。8月以降は未定。柳瀬計宣 kazyanas@yahoo.co.jp

**スキー同好会**



本年は2月に参加人員9名で上越国際スキー場に。また、3月には参加人員6名で、北海道の札幌国際、ルスツ、サッポロテイネに。来シーズンも1月から3月にかけて2回位は催行予定。折茂伸平 orimo-st@beach.ocn.ne.jp 電話・ファックス09 34667 7697

新入会員紹介(4月・6月入会)

生年(西暦) 住所 経歴 学歴  
専門・特技・趣味など

【4月入会】

西村 英俊 42年 東京 双日本  
ルディングス社長 九州大経済 経営  
全般

伊東 幸子 62年 東京 キャリア  
開発研究所取締役 早稲田大政経 キ  
ャリア開発・ピアノ

金井 勇 39年 東京 丸紅・マ  
ックス社長 慶應大工 イラク情報

内田 勇 47年 埼玉 三菱原子力  
工業プロジェクトマネージャー 県立  
川口工業高校 原子力

高橋 孝 43年 神奈川 安田信託  
銀行取締役 ホテル経営・弓道2段

松井 達郎 44年 千葉 東レ・東  
レファイナケミカル技術開発部門主幹  
京都大工 高分子技術開発

坂本 信之 35年 東京 日立キャ  
ピタルUK社長 小樽商科大商 ファ  
イナンス・買収

【5月入会】

金井 英夫 46年 東京 住友林業  
常務執行役員 慶應大経済 宅建・建  
設業簿記

野村 俊彦 42年 神奈川 東京リ  
ース経営監査部長 早稲田大政経 リ  
ース事業・CSR

中 博 45年 東京 廣済堂出版  
社長 京都大経済 企業再生・M&A

関 眞次 46年 東京 ダイヤモン  
ド・フィナンシャルプランナーズ社長  
早稲田大文 編集・リスクマネジメ  
ント・楽器演奏

田畑 義一 45年 東京 富士銀  
行・沖電気工事専務 早稲田大法 融  
資・宅建

遺藤 治一 38年 東京 伊藤忠・  
伊藤忠ビジネスコンサルティング社長  
京大法 二輪車・フランス

夏目 孝吉 43年 千葉 ダイヤモ  
ンドエグゼクティブラーニング副社長  
早稲田大法 キャリア教育

服部 毅 43年 東京 プリヂスト  
ンサイクル社長 上智大理 工場運  
営・人事

飯塚 茂 38年 神奈川 アサヒビ  
ール常務・アサヒロジスティクス社長  
一橋大経済 人事・物流

上原 利夫 34年 東京 住友商  
事・サテライトジャパン常任監査役  
一橋大経済 監査・経営倫理

峯脇 達也 45年 神奈川 ハウス  
食品専務・ハウス物流サービス社長  
関西大法 商品開発・マーケティング

【6月入会】

関根 一夫 49年 埼玉 大塚商会  
上席執行役員 早稲田大商 総務・管  
理

星壘 邦夫 43年 東京 富士銀行  
金沢支店長 横浜国大経済 外国為  
替・キャリアアップ

西村 雄彦 35年 東京 デンカ生  
研社長 横浜国大工 高分子合成

大竹 和夫 42年 千葉 米トメ  
ン副社長 慶應大法 トラブルシュー  
ティング・会社再建

嶋矢 志郎 37年 神奈川 日本経  
済新聞論説委員 早稲田大政経 環境  
経営・CSR・IR

森岡 健 36年 神奈川 三菱信託  
銀行・パシフィック・インベストメン  
ト・アドバイザーズ社長 同志社大経  
済 REIT全般

山口 勝三 40年 千葉 三井物  
産・フクヒUSA社長 大阪外大スベ  
イン語科 起業支援・山歩き

小島 英成 43年 東京 住友金  
属・住特通商常務 慶應大経済 ノン  
プロ野球

平井 浩一 40年 神奈川 日立製  
作所常務・日立ハイブリッドネットワ  
ーク社長 早稲田理工 システム事業  
全般

栗原 信行 46年 埼玉 ヤマト運  
輸常務・ヤマトフィナンシャル社長  
慶應大商 宅配事業開拓

中重 賢治 40年 千葉 丸紅・日  
本ジリング社長 神戸大工 環境関  
連

金井 一臣 43年 東京 クボタハ  
ウス・カナイメディカルマネージャ  
メントオフィス代表 法政大経済 病院経  
営指導

八木 弥五郎 37年 滋賀 ユニチ  
ヤム商品開発部長 室蘭工大工 新  
製品開発

辻 忠樹 42年 千葉 アサヒビ  
ールサービスセンター社長 大阪大法  
人事・労務

岡田 克己 46年 埼玉 資生堂開  
発取締役 青山学院大法 広報・消費  
生活アドバイザー

広沢 政晴 45年 東京 三菱商  
事・村上化学副社長 横浜国大経済  
タイ・化学品

柏崎 昇一 47年 東京 アメリカ  
ンファミリー生命保険執行役員 中央  
大商 先進医療技術関連

徳永 健人 43年 神奈川 富士銀  
行・広島総合銀行常務 日本大経済  
人材育成・リスク管理

鈴木 信男 46年 東京 みずほ信  
託銀行取締役・長谷工コミュニケーション常  
務 東京大法 マンション管理・経営  
企画

植木 五郎 41年 茨城 日本八  
常務 兵庫農科大畜産 物産事業・コ  
ンプライアンス

関谷 義実 49年 東京 日興証  
券・日加合弁会社社長 フランス国立  
政治大学校 M&A・事業再生・IP  
O

松田 俊夫 42年 神奈川 第一勧  
銀・萬有製薬取締役 東京大法 IT  
戦略・管理医療

天野 武和 37年 神奈川 三井銀  
行取締役・日本製鋼所副社長 東京大  
法 業務企画・地域開発・小型船舶操  
縦

狩野 康夫 45年 東京 昭和電  
工・昭光通商取締役 東京大理 電子  
材料・結晶学

本岡 俊郎 47年 神奈川 味の  
素・東京青果開発部長 京都大農  
「食」の安全・農業論

会員の方の投稿・情報提供をお願い  
します。エッセイ、写真、絵など会員  
自身が創作したものを投稿してくださ  
い。また、こんな人・情報を求む、こ  
んな活動をして  
いる会員がいる  
などの情報提供  
もお願いします。  
掲載方法は、事  
務局の判断にお  
任せください。

